



# めだか通信204号

桐生市立教育研究所 「あぶろーち」



44日間の長い夏休みが終わり、今日から2学期がスタートしました。猛暑が続きました  
が体調など崩してはいないでしょうか。

今年の夏は、各地で夏祭りや花火大会などのイベントが開催され、観光地も多くの人で賑  
わっていたようです。また、パリオリンピックでの日本代表選手の活躍も大きな盛り上がり  
を見せました。28日からパラオリンピックも始まりましたので、日本代表選手のさらなる  
活躍を期待しましょう。

2学期は「あぶろーち」や各学校でも多くの行事が予定されています。また、秋は運動や  
学習・読書など何をするにも良い季節です。『実りの秋』となるようにそれぞれが目標をも  
ってスタートし、自分らしく精一杯頑張ってくれることを期待しています。

## 【夏休みの学習相談日・かき氷】

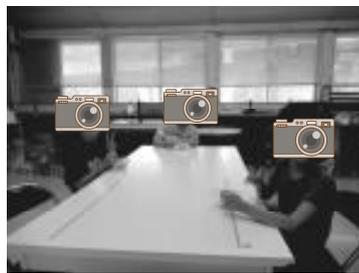
夏休み中に学習相談日がありました。学習相談が終わった後は、かき氷を作って楽しみま  
した。一人一人が好みの味のかき氷を作り、おいしくいただきました。



【学習の様子】



【おかわりをしていろいろな味を楽しみました】



## 【メダカのつぶやき】 「しか」ではなく「も」

日本人選手が大活躍をしたパリオリンピックが終わりました。金メダルの  
数は海外のオリンピックでは過去最高だったそうです。たくさん  
の名場面、名言が生まれたオリンピックでもありました。その中で特に印象に残った選手にスケートボ  
ードの堀米雄斗選手がいます。堀米選手は、最後の試技で大逆転の金メダル、しかも東京オ  
リンピックから2連覇を達成しました。レベルの高い日本人選手が多くいる中、出場するこ  
とも大変な状況で見事な活躍でした。堀米選手が大会後発信した SNS の中で、最後の試技  
で大技を決めたことに関して「1%も可能性があるなら」とつぶやいたそうです。「1%し  
か」ではなく「1%も」とポジティブに捉え、自分の可能性を信じることができるメンタル  
の強さが、劇的な勝利を生んだのではないのでしょうか。

「しか」ではなく「も」と捉えることで見えてくる世界が違ってくるのだと改めて考えさ  
せられました。日常生活でもこうした捉え方で生活すると、とても前向きになれるように思  
います。例えば、テストの3日前「もう3日しか残っていない」と思うか「まだ、3日も残  
っている」と思うかです。「も」の方が前向きに最後まで頑張れそうな気になります。捉え  
方を変えるというのは、日常のさまざまな場面でも応用できそうですね。

### ☆チャレンジ期間☆

2学期がスタートしました。夏休み中、  
頑張った課題は必ず学校に提出しましょう。

2学期はたくさんの行事があり、運動会  
(体育祭)や高原学校、職場体験、修学旅行、  
合唱コンクールなどを予定している学校が  
多いようです。興味のある行事や授業があ  
ったら勇気を出して一歩を踏み出し、参加  
してみましょう。新たなスタートができる  
よう家庭でも話し合ってください。  
応援しています!!



### ☆ 今後の予定 ☆

- 9月上旬 始めの会(始業式)
- 9月上旬～ チャレンジ期間
- 9月中旬 運動日③
- 9月中旬 「あぶろーち」説明会 14:30
- 10月中旬 野外体験学習
- 10月中旬 ふれあい活動④ 大川美術館
- 10月下旬 ふれあい活動⑤ 幼稚園訪問
- 11月上旬 ふれあい活動⑥ 吾妻山登山
- 11月中旬 調理実習③「大根料理」
- 11月中旬 運動日④ 野外活動センター

2024年9月2日発行  
TEL 43-2602